

# 事業報告令和4年度 教育事業 新春たかとお書き初め大会

令和5年1月7日(土)～8日(日)  
【対象】小学生がいる家族  
【場所】国立信州高遠青少年自然の家

## 1. 趣旨

日本における「書」の伝統と文化を通じて、豊かな表現力を養う。また、日本の伝統「食」文化に触れる機会とし、郷土愛の醸成を図ることで、他者や異文化を尊重する心を育むきっかけとする。

## 2. 事業の概要

(1) 期 日 令和5年1月7日(土)～1月8日(日) 1泊2日

(2) 対 象 小学生がいる家族

(3) 参加者 8家族 (男13名、女14名 / 大人 12名、小学生 11名、幼児4名)

(4) 日 程

1月7日(土)		1月8日(日)	
13:00	受付	6:00	起床
13:30	開会式	7:00	朝のつどい
14:00	高遠高校による書道パフォーマンス	7:20	朝食
14:30	書き初め練習(高遠高校生による指導)	8:00	荷物整理・清掃、散策
16:00	宿泊棟へ荷物移動	9:30	伝統「食」文化体験 (飾り巻き寿司・キンパ)
17:00	タベのつどい		
17:20	夕食	12:00	閉会式
18:30	書き初め作品づくり	12:30	解散
20:00	入浴		
21:00	就寝		

## 3. 企画運営のポイント

- ・ 地元高校書道コースの生徒による書道パフォーマンスや書道指導の時間を設け、書道への興味関心を深められるようにした。
- ・ 伝統「食」文化体験では、日本の伝統食だけでなく、のり巻き文化が同様にある韓国の料理も一緒に作ることで、互いのよさ・違いを感じられるようにした。
- ・ 施設に韓国出身の職員がいたため、参加者に向けて韓国料理の説明をしてもらうようにした。生活に根差した知識を知ることで、より深い学びになるようにした。
- ・ 小学校の低学年から幼児まで参加する事業であったため、時間的に余裕のあるプログラムを組んだ。

## 4. 参加者の声

- ・ 地元高校生のとってもかっこいい姿が見れて、迫力を感じられました。
- ・ 高校生と関わる機会がないので、貴重な経験でした。
- ・ スタッフの方が子どもの成長につながるような声かけをたくさんしてくださり、また、親のフォローまでしていただいてとてもありがたかったです。
- ・ 初めての書き初めだったけどしっかり書けていた。
- ・ 自然のなかで、伝統文化を大学生ボランティア・高校生とともに感じる機会となり、良い体験となりました。
- ・ 真面目にコツコツ取り組める姿が見れました。初めてのことで尽くして不安になったりしないか心配していましたが、終始笑顔でいてくれたので、良い経験をさせてあげられたと思います。

## 5. 事業中の様子

地元高校生による  
書道パフォーマンス



高校生に字を習う参加者①

書道パフォーマンスに参加する  
参加者の子どもたち



高校生に字を習う参加者②

完成した書道パフォーマンス作品



書き初め作品づくり①



書き初め作品づくり②



書き初め作品づくり③



書き初め作品づくり④



巻き寿司づくり①



巻き寿司づくり②



巻き寿司づくり③



## 6. 成果と課題

(1) アンケート結果 回収 8家族 (大人のみ記入。回収率 100%)

事業全体を通して	満足 : 8名	100%	やや不満 : 0名	0%
	やや満足 : 0名	0%	やや不満 : 0名	0%

(2) 成果と課題

- 地元高校書道コースの協力を得て、書道パフォーマンスを実施することで、幼児や小学校低学年の子ども書道に興味をもって取り組む雰囲気を作ることができた。
- 書道コースの高校生に書道指導を行ってもらえたことで、参加者の子どもや大人、大学生ボランティアを含めた様々な年代の交流の場を作ることができた。
- 伝統「食」文化体験では、調理して味わうだけでなく、施設職員の人的資源を生かし、日本・韓国それぞれの巻きずしの特徴や文化の説明を入れることで、知識面でも興味関心を深めることができ、互いの文化をより深く理解することにつながった。
- 各家族の人数差から、プログラムや移動にかかる時間に差が出てしまったが、筆で絵を描けるように準備したり、絵本を用意したりしていたことで、手持ち無沙汰になることは少なくできた。人手が足りないご家族のサポートができるよう、よりスタッフ間で様子を共有し合っていきたい。